

Up リフォーム

「収納」は、どのお宅も抱える悩みの一つ。入居後間もないこの住宅も、増築に発展。

増築後の使い勝手に配慮しリフォーム例を紹介する。

施主の要望

部屋数が少なく、収納スペースが足りないのが増築してほしい。二階には広いベランダがあるものの、海に近いため風が強く、洗濯干し場にも向かない場所。幸い屋根付なので、ベランダの空きスペース

すでにある部屋との位置関係や増築後の使い勝手を考え、スペースをうまく活用して増築するのが今回のポイント。

施工のポイント

ベースを利用して増築したい。

増築面積は約四坪にとどめ、2×4（ツー・バイ・フォー）の木造で行うことにした。特に工夫を凝らしたのは、既存部分と増築部分の接続部（リフォーム後面・円内）。床の高さをそろえ、移動に支障がないよう配慮。さらに出入口は、部屋1の①部（リフォーム前面）の掃き出し窓を分割し、右半分は増築した部屋に通じるドアに、左半分はベランダに通じるドアに

した。掃き出し窓のアルミサッシフレームはそのまま残して床を張ったのも工夫の一つ。はつり作業を省いたことにより、低コスト、工期の短縮につながり、効率的なリフォームとなった。建て売り住宅に入居後間もないというこのお宅。収納の少なさは悩みの種だったとか。「思い切ってリフォームしたかいがありました」と施主のコメント。低コストや工期短縮に満足する工夫に、施主も満足

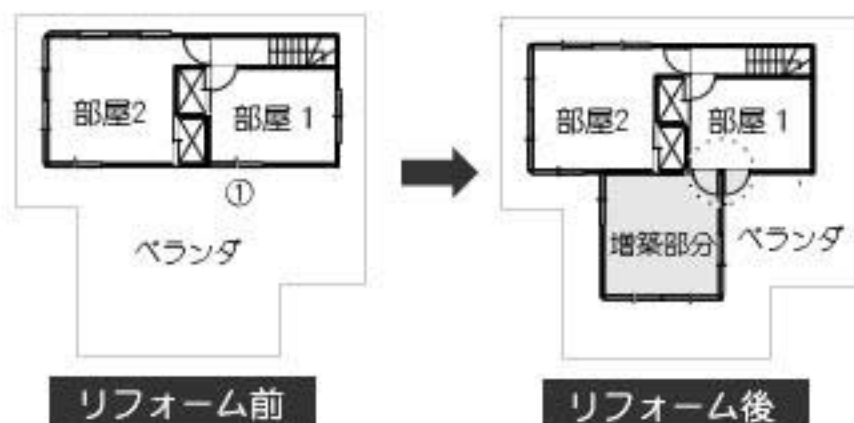
部屋数 収納が足りない！

「増築」で悩み解消 ベランダを有効利用



リフォーム後

建物二階部分。サイディングがわずかに増築の痕跡をうかがわせるが、違和感のない外観



● リフォーム部分

既築部分（部屋1）から増築した部屋を見る。アルミサッシフレームはそのまま残し、床を張って隠すなどの工夫で、低コスト、工期短縮につながった



リフォーム後

- 《DATA》
- 築年数：約5年
 - 構造：鉄筋コンクリート造（本体）
2×4の木造（増築部分）
 - 施工面積：約13.2㎡（約4坪）
 - 施工費用：約120万
 - 施工期間：約20日間
 - 家族構成：夫婦・子1人